

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◆ 4月18日(土) 愛知県山岳連盟定時総会(名古屋工業大学) <http://aichi-sangaku.main.jp/>

梅池自然園と白馬連峰

晩春のころは 残雪も消え
 自然園一带に水芭蕉が咲き競う！

PHOTO 中平等新一



愛知岳連自然保護委員総会

自然観察や保護活動協議

令和2年度愛知県山岳連盟自然保護委員総会が、2月18日(火)午後7時より県スポーツ会館に於いて行われました。当日は、自然保護指導員、自然保護委員ら15人が出席しました。

最初に安藤会長から「自然保護委員会の活動は、自然観察会が終着点ではない。観察会などの活動を通して、人の輪を大切にしてください。そして、具体的な自然保護活動や自然保護の考え方に発展させていってほしい。例えば近年シカの食害など問題になっているが、野生動物にも目を向ける必要がある。『ジビエ料理』に関心を持つこともある意味、自然保護につながるのではないかと」と挨拶で述べられた。

次に報告事項として、平成31年度(令和元年)の活動報告で、第47回から第49回自然観察会の活動について、写真入りの資料を基に、参加人数や活動の様子などを詳しく報告をした。

つづいて審議事項に入り、第50回の自然観察会の計画について発表。5月9日、10日

(土・日)の自然観察会、国立乗鞍青少年交流の家を起点に、山菜採りと観察会、親睦会の企画を説明。第51回の自然観察会は、10月25日(日)タナカ高原で昨年のリベンジとして実施する。

第50回、第51回とも岐阜県在住の植物学者・小野木三郎先生に講師をお願いしており、雄弁な解説が聞かれることを期待しています。

また、安藤会長の挨拶の中にもあった、ジビエの猪肉をいただく会や北谷小屋を紹介する行事の計画など検討していきたい。

最後に、お知らせ事項として2点の連絡をした。1点目は自然保護指導員の5年毎の更新について。今年度対象の4人の方は全員が更新手続きをされていること。2点目は昨年引き続き、愛知県山岳連盟所属の各団体に、自然保護委員の登録を積極的に働きかけていくこと。新たな指導員の獲得に向け、各指導員が自分の所属団体の中で積極的に勧誘活動をしていただくことなどお願いして、総会を終えた。

(栗木 洋明)

「山岳自然保護のつどい」に出席

衰退する森「金華山」を視察

日本山岳・SC協会理事 安藤 武典

日本山岳・スポーツクライミング協会主催の令和元年自然保護委員会総会、第43回「山岳自然保護のつどい」が、11月9・10日の2日間、宮城県石巻市・金華山周辺に於いて開催され出席してきました。今年度の金華山大会は、東日本大震災からのグリーン復興、次代につなげる山岳自然環境を大会のテーマとして実施され、参加者は北海道から山口県まで役員を含め96人であった。

震災の爪痕がいたるところに残るこの地を訪れ、自然の怖さとやりきれなさを感じた。そんな中、この大会を準備し我々をもてなして下さった方々に、そして大会を盛り上げていただいた参加者の方々全てに厚くお礼申しあげたいと思います。

牡鹿半島の先端に位置する牡鹿保健福祉センターで、宮城県山岳連盟会長の吉田氏の開会の言葉が始まった。開会式後、総合地球環境学研究所特任教授・中静透氏の「金華山の森との対話」と題し、古来より鹿を神の使いとして保護してきた、霊島金華山の豊かな原生林についてスライド

を交えての講演があった。

中静氏は森林生態学者で、東北大学、京都大学で研究をされ、金華山にもたびたび足を運ばれたとのことである。金華山は大きな森、変な森、危うい森で、ブナ、シデ、モミなど樹齢何百年もの巨木の原生林であるが、下草が健全な森に比べ極端に少なく、種類はとげ植物と有毒草がほとんどである。若木や下草は鹿の食害により成長できず、変な森になっている。そして対策を打たなければ衰退する森であるとのことであった。

また、松食虫の被害で松枯も広がっており、松林がわらび（有毒）の草原に代わっている。こうした傾向は全国的に広がっており、金華山が日本の森の将来を暗示しているのではないかということであった。身近な山々にも鹿が増えている。危惧を持って興味深くお話を聞くことができた。

昼食後は自然保護委員会総会となり、委員会の役員構成、各県の指導員登録数、活動報告後、21岳連（協会）の自然保護活動の報告があった。各県により活動内容は様々であったが、各々の県の実況に合

わせ活動していることがよく分かった。

その後ホテルに移動し、夕食に合わせて交流懇親会が行われた。

翌日は金華山を、2コース9班に分かれて野外活動を行った。私はA・7班で金華山山頂を目指した。

先ずは1200余年の歴史を持つ黄金山神社にお参りしてから、約4時間金華山を登山した。昨日の中静氏のお話

の通り、モミ、ブナ、シデの巨木が点在し、若い木々や下草はほとんどなく棘のあるものばかりであった。また、枯れたり、倒れたりしている巨木も散見され、衰退する森を見た気がした。鹿柵に囲まれた保護区画もあり、そこには雑多な幼木が育ち、周りの植相とは全く違った景観を見せていたが、その柵も所々倒れたままになっており、被災地では鹿柵どころではない状況

アジア選手権ボゴール大会

藤井、倉選手金・銀メダル

昨年11月6・10日にアジア選手権ボゴール大会が、インドネシア共和国西ジャワ州ボゴール市で開催され、日本から男子9人、女子4人の選手が参加した。

会場は赤道が近く、日中は35℃を超える高温で、クライミングウォールも太陽を浴びる状態で、選手にとって非常に厳しいコンディションであった。

そのような条件の中で日本選手は大活躍をし、男子の藤井快選手は、コンバインド、リードで金メダル、ボルダリング銀メダルを獲得、女子では倉菜々子選手が、コンバインド、リード、ボルダリング

の3種目に銀メダルの好成績を収めた。



表彰台の倉選手(左)

を見た気がした。

まだまだ復興が続く被災地。環境保全。原発の帰宅困難地区。いろいろ考えさせられた大会であった。

自然観察会

タンナカ高原

肌寒い中森を散策

10月27日(日)第49回自然観察会を岐阜県飛騨市の流葉高原において実施した。

今回の自然観察会は雨天のため、当初の19日から27日に変更したため、参加者は3団体23人であった。しかし、紅葉の遅れもあり、今日は紅葉の見頃はピツタリ、ところが天候が回復せず全体が雲に覆われた天気。ひるがの高原の気温は9度と車から降りると一気に肌寒さを感じた。高速道路の標高の高い場所では濃い霧が覆われ、不安定な天候が気かりであった。

数河高原の集合場所では、9時半に予定通り開会式を始めた。写真撮影の後、タンナカ高原を目指して移動開始。この頃から雨が降り始め、おまけに道路は復旧工事中。9月いっぱい完了の予定が雨のため延期が続いているとのこと。やむなく引き返し、流葉のMプラザに移動。流葉高原の6つある散策コースの中から4・5キロのコースを選



(栗木 洋明)

折し、スキー場周辺で自然観察会を実施する事になった。講師の小野木先生はどこを歩いても話題は豊富で話が途切れることはない。植林の森あり、広葉樹の森ありで次第に標高も高くなり、ゲレンデ中腹に到着、森の中で昼食。雨が降っていたが森の密度があり、あまり気にならなかった。

ゲレンデからは流業の街並みや色づいた周りの山々を見渡すことができ、木片チップの敷き詰められたハイキングコースの散策を楽しんだ。小野木先生の説明はユーモアがあり飽きなかったが、気温が低く肌寒いこともあり、つい足早になり自然観察会は14時半で予定通り終了し、駐車場で閉会式をして解散した。

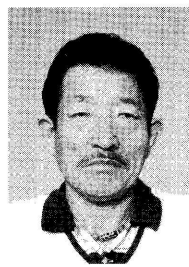
全日本登山大会(岐阜)

第58回全日本登山大会岐阜大会が、高山市、下呂市で9月28、30日に開催され約3百人が参加しました。

「飛騨には美しい山と癒しの湯がある」を大会テーマに高山市民文化会館で開会式が行われ、高山少年少女合唱団による「山の歌」で始まり、記念講演として今田恵穂高岳山荘代表から「穂高に生きる」と題して話がありました。

翌朝は、乗鞍岳や西穂独標など登山をし、下山後ホテルで交換会を行なわれました。

石川前会長逝去



石川富康さんが、かねてから病氣療養中のところ、昨年10月8日逝去されました。

石川さんは、50代からエベレストなどヒマラヤを精力的に登頂され、愛知県山岳連盟では会長職を4期務められご尽力されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

印象に残った私の登山

26

感動のラーメン山行 安藤 武典

もう35年も前の話。昭和60年春、あの時のラーメンのおいしさは忘れられない。

春合宿として北鎌、硫黄、東尾根の槍ヶ岳集中登山をした。4月27日、七倉でタクシ

ーを降り、雨の中の長いアプローチ。湯俣川のつり橋を渡り赤布の垂れる硫黄尾根の取付で、私たち3人は北鎌隊と別れた。PIの手前で幕営をする。テントに入ると日が騒ぎ出す。「コツファー(鍋、食器)がない」「えー」一遍に

テントの中が真暗になる。当時は個人の食器も全て共同装備、つまり水も料理も作ることができないのだ。下山しかない。明日からは移動性高気圧に包まれ好天が約束されそう。3人で暗い協議。当時のEPIのコンロのヘッドはステンレスの容器に入っており、100cc位の容積があったらどうか。これで水を作り、食べられる物を腹に入れて北鎌隊に会うまで山行を続けよ

うということになった。

翌日快晴、雪面の硬いうちに距離を伸ばそうと早出。硫黄岳への登りは体力的に辛かった。赤岳のジャンダルム群の赤い岩峰が日本の山とは思えないほど美しい。景色に圧倒されながら緊張感を楽しみ進む。昼過ぎに中山沢のゴルフで幕営。水作りに精を出す。

29日、朝日に輝く赤岳主峰群と雪壁はアルパイン的で登高欲をそそる。雪壁、ナイフリッジと緊張した個所が続くが5峰を過ぎると白樺台地という広い雪面となり雪庇に気をつけて西鎌尾根に出る。硬雪の片斜面が続く、思ったより辛かった。けじめかなと槍に登り、くたくたになりながら槍平に下る。さっそく北鎌隊からコツファーを借り、ラーメンを作った。スープたっぷり

のラーメン。涙が出るほどおいしい。5食ぶりの食事？にラーメンをこんなに感動的な物にした日をからかいながらも麺をすすった。いつまでも忘れることのできない硫黄尾根だった。

(愛知県山岳連盟会長)

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎ 0532-26-3737

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地



モンタニア

住所 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎ 0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-10

名古屋クロスコートタワー 1F

TEL 052-565-1417

遭難事故の実態や意見交換

一、各県の遭難対策と自然保護活動

亡、六甲山では数字上63件であるが、実態は登山者がとても多くてデータ集約困難。遭難理由は道迷い7割、指導啓発に兵庫登山研修所を活用。加盟団体向けにビーコンやGPSの貸出し、六甲の花の観察などの自然観察が主、自然保全には至らず。(奈良)平成30年度遭難53件69人、60歳以上が7割、大阪の人が5割大峰55%で半分は道迷い。登山届10%未満で、その被害が遭難者遺体発見遅れ(白骨化)に現れている。(岐阜)3月新穂高で滑落事故、9月下の廊下滑落など大きな事故。10月岳連のレスキュー研修会

二、意見交換など

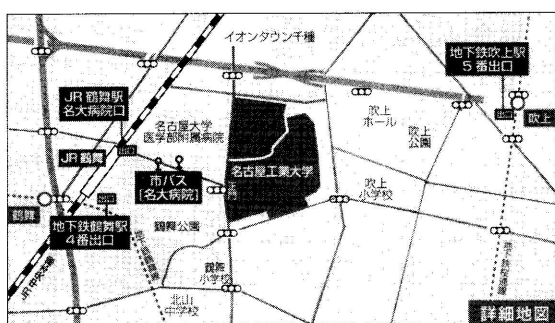
・道標やテープの低山での具体的な状態が多く報告された。不統一な道標や目印のテープの問題。テープの耐久性や目印を付けるルールなど簡単に統一や規制できない現実に悩みも多い。実態を記録して、今後の在り方を行政なども巻き込んで議論するための資料を整備することが必要だと感じた。

・次回は滋賀県担当で、今回

「県スポーツ会館」閉館

従つて次年度からは会議等の会場が、国立名古屋工業大学（名古屋市中昭和区御器所町）で行うことになりました。

日時・会議室等につきましては、その都度ホームページに掲載しますので確認してください。



登山用品豐富！

JR刈谷駅前
穂高

〒448-0825
刈谷市神明町6-408
TEL 0566 (23) 8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL : 090-4857-9130

URL : <http://www.nvgs-office.com/>

指導員集会開く

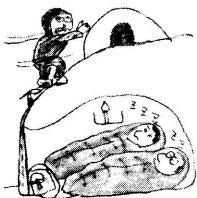
事業計画と指導員の現状

指導員集会が1月11日(土)午後3時より刈谷市生涯学習センターで行われました。はじめに木田委員長の挨拶の後、2019年度の事業と参加状況の報告があり、つづいて今後の事業計画が示され協力の依頼がありました。次に指導員の登録と更新状況の説明があり、現在の有効資格保有者は、山岳47人、SC14人であり、今年度は指導員の養成講座に8人が参加しています。最後に今後の岳連行事への参加とご協力をお願いして、終了しました。

第3回登山勉強会

〜シエルター作り〜

第3回の指導員による勉強会がテーマ「シエルター作り」で、2月11日(火)県スポーツ会館、2月18日(火)豊橋で行われました。今回は、2月29日〜3月1日に実施される雪山技術講習会の予備知識として学習する目的で行われました。



「遭難を考える」講演会

低体温症のメカニズムを学ぶ!



第23回「遭難を考える」講演会が、11月29日(金)県スポーツ会館大会議室に於て「低体温症のメカニズム」と題して、講師に三浦裕氏(至学館大学栄養科学科教授・日本登山医学会認定国際山岳医)を抑えて、午後7時20分から8時40分まで行われました。

低体温症になると低酸素状態と同じ病態になるとメカニズムを知り、山で死なないための予防法、応急処置を解説していただきました。

(トムラウシ山遭難事故調査報告書)

脳、特に意識や機能、言語などの中枢のある大脳皮質の障害は、低体温によって思っているよりも早期に機能低下に陥っていくことが多くの証言から分かった。「行動中に意識が飛んだ」「ストーンと落ちていくように意識がなくな

った」という証言は、急激な意識喪失がおきたものである。これは寒中の街で起こった低体温症の患者の例には見られない症状で、山で起こった偶発性低体温症の特徴的な症状とも思われる。「心静止」心室の収縮がない状態のことである。

似ている言葉として心停止があるが、こちらは心臓が有効な循環を保てなくなっている状態のこと、心静止、無脈性電気活動、無脈性心室頻拍、心室細動の4つを合わせた総称である。「意識障害を起こしている低体温症者を、風呂に入れるとどうなるか?」

風呂に入り体表面から加温されると、体表面の血管が広がる。血液が体表面にプールされたようになる。しかし心臓は低体温状態のため動きが悪く、ポンプとして十分な血液を送り出せない。そのため体全体の血液量が足りない状態になり、ショックを起こして死期を早める。これを復温ショックという。

・抹消の血流増加分、重要臓器の血流を低下させて死を早める。

〔低体温症処置法〕

冷えている時は身は動かさない。体位変換による寒冷血液が心臓に還流し、心原性ショックを誘引する。

低体温患者の搬送は水平位を保つ。遭難者が置かれていた環境から推定して、低体温が予想される時には、現場で直ちに胸骨圧迫を開始する。

・32℃になると震えが起きるが、震えが止まる前までに処置しなければ死に至る。

・低体温状態で、手足をマッサージすると冷たい血液が心臓に回り死を招く。心臓を湯タンポや熱湯を入れたベットボトル等で極力温め、シュラフなどで包み保温に努める。

・低体温症の三大要因は「低温」「濡れ」「風」だが、体力不足、疲労、脱水、高所などがリスクを高める。実際に山で遭遇する時は風、雨、雪などの環境下で対処することが多く、このような自然条件は十分に考慮しなければならぬ。

◎重度の低体温症では死に至ることはなく、処置さえ誤らなければ後遺障害も少なく回復する確率が高いので、処置方法、メカニズムを熟知して的確に処置することである。

<http://www.renopoint.jp>

Original Wear & Goods

オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)

カジュアルユニフォーム&グッズ

デザイン・企画・制作

お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH(グラスパ・チ)

株式会社リノポイント

〒491-0835

愛知県一宮市あずら1-5-7

TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopoint.jp

うなぎ錦三丁目 い ば しょう

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号

TEL <052> 951-1166 番

営業時間

午前 11:00~午後 2:30

午後 4:00~午後 8:00

定休日

日曜日・第二・第三月曜日



赤岳登頂ならず、 豊橋山岳会

・期 日 12月30～31日
・メンバー 6名
・記録 渡邊 早織

みぞれ雪に濡れることを懸念しながら歩いていくと、次第に小降りになり一安心。鉱泉のバツテリ小屋で休憩していたらアイズ組の4人が下りてきた。出会えたことを祝して記念写真。アイズ組が残してくれたテントは、とっても良い場所に張ってあるとのこと。

曇り空だがハケ岳の森はやはり美しい。クリスマスカードのような景色の中を歩いて行くのは癒される。2時間位でサクッと着くと思っていたのに歩けども歩けども着かず。やっと着いた時はほっとした。アイズキャンディーには大勢の人が取り付いてクライミングを楽しんでいた。夕方になり寒さも増してきたのでテントに入って宴会開始。あんなに速いのに、重たい食料を背負ってきたZさんの鍋のおいしいこと。会長から

らワインの振る舞いもあり、宴会は盛り上がる。目が覚めると遠くで風が囁々と渦巻いている音がする。予報通りの暴風らしい。4時起きのはずだったが30分押しで起床。明け方だというのに相変わらず屋根のつらからは水が滴っている。予定よりも一時間半遅れて出発。途中、中山に寄るが臨めず。とりあえず1ピークなので記念撮影。

そこから5分もしたら行者小屋に出た。「どうする？行くの？」地蔵尾根の分岐に立つてZさんが言う。天望荘から降りてきた人が、上はすごい風だと言っていた。「Tさんが行きたいなら、僕は一緒に行くよ。」とK君。みんな偉いなあ。私は待機を申し出る。迷った末にTさんは、今回は見送ると判断。そうと決まれば後は南沢コースを下りるだけ。

標高が下がるにつれ、道がアイズバーン化してきたのでTさんと私はアイゼンを付けて下りる。

堰堤に出たらすぐに美濃戸山荘だ。焚火の香りを嗅ぎながらサービスのお茶をいただく。いよいよ寛ぐ。最後、駐車場までの坂も駐車場もアイズバーンでスケートリンク状態だ。美濃戸山荘でアイゼンを外さなくてよかった。

春山で遭難しないために！ 事前準備を万全に安全登山

春山は、日本付近を低気圧や高気圧が次々と通過し、短い周期で天候が変化し、ひとたび天候が急変すれば吹雪となり、低体温症等による行動不能や雪崩に巻き込まれる等の遭難が発生する危険性があります。

登山をされる方は、自分の経験や技術、体力等を過信することなく、日頃からトレーニング等を行い、日程に余裕を持った計画を立てるなど、事前準備を万全にして、安全登山に心掛けてください。

▲余裕のある日程で登山計画
無計画、時間的に余裕のない計画、装備の不備は遭難につながります。また、事前に天気予報を確認して、荒天時は登山そのものを中止するなどの判断を誤らないように。

▲雪崩に注意！
気温の上昇や積雪状況によつては雪崩が発生しやすくなります。標高の高いアルプス等の登山は、必ず雪崩ピーコン、プロップ、ショベル、地図、コンパス等を携行するとともに、積雪、降雪の状況や気温の変化に十分注意して、登山ルートやテント設営場所を慎重に選定しよう。

春山登山は雪渓等の沢筋がコースとなる場合があるので通過の際は雪質、積雪状況を見極め、慎重に通過しよう。また、雪崩だけでなく雪解けとともに土砂崩れや落石も発生するため、常に斜面の上部を警戒しながら行動しよう。

▲単独登山のリスクを確認
単独登山者は万が一の際、携帯電話等の通信手段が不通であれば、助けを呼ぶことができず、救助活動の遅れや行方不明となる可能性があります。単独で登山をする場合は家族や友人などに登山計画書を渡しておきましょう。

▲転倒・滑落多発！
山岳遭難の態様で最も多いのが転倒・滑落です。雪上斜面で滑落すると、停止することが難しく、大怪我や命を落とす可能性があります。ピッケルやアイゼンを状況に応じて的確に使用できる雪上技術が必要になります。正しい技術を身につけてから入山しましょう。

◎計画書は必ず所属クラブや家族（友人）に届けておきましょう。

◆5・6月スケジュール	月 日	内 容
	5.12	常任理事会 (OMCビル)
	5.19	読図講習会(机上勉強)名古屋工業大学
	5.24	〃 (実技・初級)大高緑地公園
	6. 7	〃 (実技・中級)豊田・猿投山
	6. 2	常任理事会 (OMCビル)
	6.16	第1回理事会 (名古屋工業大学)
	6.20～21	確保技術講習会 (豊田・鞍ヶ池)
	6.27	指導員総会 (刈谷アイリスホール)
	4月18日(土)	令和2年度 愛知県山岳連盟定時総会
	13:30～	於:名古屋工業大学12号館2F M1教室

観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

ALPINE ツアー サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 第3千福ビル3階
FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com
ホームページ <http://www.alpine-tour.com>